



令和 2 年 9 月 9 日
第十管区海上保安本部

鹿児島市立科学館で世界の地図や海図を展示します

～9月12日は 第149回水路記念日です～

海上保安庁は、船舶が安全に航海するために欠かすことのできない我が国周辺の海図を刊行するほか、国際水路機関条約に基づく資料交換等の方法で、諸外国の海図などを収集しています。

第十管区海上保安本部では、水路記念日※¹にあわせ、鹿児島市立科学館において、これまでに収集した珍しい外国の地図や海図などを展示します。

1 開催日時

令和2年9月10日（木）～9月14日（月）

午前9時30分から午後6時まで

※台風10号の影響により期間を短縮し開催します。

2 場所

鹿児島市立科学館 2階エントランスホール（見学無料）

所在地：鹿児島市鴨池2丁目31-18

電話：099-250-8511

3 展示物

(1) 1569年、メルカトルが作製した世界地図

(2) 1513年、ピーリー・レイスが作製した地図

(3) 1856年、ドイツで作製された世界地図

(4) 1854年、ペリーが日本来航時に測量した東京湾の海図 など

※展示物は複製品となります。

9月12日（土）及び13日（日）は、十管本部職員が展示物の説明を行います。

4 その他

取材の申し込みにつきましては、十管本部海洋情報部監理課までお知らせください。

※¹「水路記念日」について

水路記念日という「水路」とは、船舶が航行するみち（路）のことをいいます。海上保安庁海洋情報部は、平成14年に名称を改めるまでは、海上保安庁水路部という組織で、もっと時代を遡ると兵部省海軍部水路局でした。

明治2年（1869年）8月に兵部省が設置され、翌明治3年3月に兵部省のもとに海軍掛、陸軍掛が設けられました。さらにその翌年の明治4年（1871年）7月28日（旧暦）に兵部省が海軍部と陸軍部に分けられ、このとき海軍部に秘史局、軍務局、造船局、水路局、会計局の5局が設置されました。

ここに、当時の我が国の緊急課題であった日本沿岸を航行する船舶の安全を守るための海図作製を使命とした水路局が初めて誕生しました。

昭和16年（1941年）の水路部設立70周年を機に、毎年7月28日を水路部の創立の日として制定していましたが、昭和46年（1971年）の創立100年の際に、旧暦（太陰暦）から太陽暦に換算し、9月12日を創立の日として、以後、この日を水路記念日とし、今年で149回になります。

水路部（局）が設置された当時は、勝海舟らとともに長崎にあった海軍伝習所においてオランダ式の航海術・測量術を学んだ津藩出身の柳悦少佐（初代水路部長）を中心として東京築地の海軍兵学寮（後の兵学校）にて現在の水路業務（海図を作製するための測量等）の基礎がスタートし、我が国の近代的な海図作りが精力的に開始されました。



初代水路部長

柳悦少佐 (1832-1891)



我が国第一号海図

「陸中 釜石港之圖」